

令和8年(2026年)度第74回静岡県高等学校総合体育大会サッカー競技
兼
東海高校総体・全国高校総体静岡県予選サッカー大会
実施要項

- 1 主 催 静岡県高等学校体育連盟・静岡県教育委員会・(一財)静岡県サッカー協会
- 2 主 管 静岡県高等学校体育連盟サッカー専門部
- 3 後 援 (公財)静岡県スポーツ協会・NHK静岡放送局・静岡第一テレビ
- 4 期 日 令和8年5月16日(土)・17日(日)・23日(土)・30日(土)・31日(日)・6月7日(日)
- 5 会 場 エコパスタジアム、他 県下公営グラウンド、高校グラウンド
- 6 大会形式
 - (1) トーナメント方式とする。
(シード:プリンスリーグ東海参加校:6校 東部:10校 中部:10校 西部:10校 合計36校)
 - (2) 3位決定戦は行わない。
- 7 参加資格
 - (1) 2026年度(公財)日本サッカー協会に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。
 - (2) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
 - (3) 選手は、静岡県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。
 - (4) 平成19年(2007年)4月2日以降出生の者。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - (5) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
 - (6) 部員不足に伴う複数校合同チームの参加については、静岡県高等学校体育連盟が承認している場合に限り大会参加を認める。
 - (7) ①転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、静岡県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない(外国人留学生もこれに準ずる)。
②転校の有無にかかわらず、他の連盟から静岡県高等学校体育連盟加盟チームへ移籍する場合は、上記(7)①に準じるものとする。ただし、この規定(7)②の適用は当該年度内に限るものとする。
 - (8) 選手は在籍する学校長の承認を必要とする。
 - (9) 外国人留学生の登録は4名までとし、試合出場は2名までとする。
※ただし、留学生の出場は、FIFA規則(Regulations On The Status And Transfer Of Players)に定める未成年(18歳未満)の国際移籍手続・登録手続を完了させた者のみに限る。
- 8 組み合わせ 5月11日(月) ※県役員会における責任抽選により決定する。
- 9 表 彰 1～3位
- 10 競技規則 (公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則25/26」による。
- 11 競技会規程
 - (1) 試合時間
 - ア. 試合時間は80分(前後半各40分)とする。ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は原則15分とする。
勝敗の決定しない場合はPK戦により勝利チームを決定する。ただし決勝戦においては20分(前後半各10分)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK戦により優勝チームを決定する。
※PK戦に入る前のインターバル : 原則3分間
延長戦に入る前のインターバル : 原則3分間(決勝戦のみ)
延長戦ハーフタイムのインターバル: 水分補給のみ(決勝戦のみ)
 - イ. アディショナルタイム表示: 原則、準々決勝以降に実施する。
 - (2) 競技者の数
 - ア. 大会申し込みを行った選手の中から、試合ごとに25名以内を登録し、背番号は1～25とする。
 - イ. 試合前に負傷等不測の事態が発生した場合、試合開始前ならば主審の承認を得て(マッチコミッショナーがつく場合はマッチコミッショナーの承認も得て)スターティングメンバーを交代要員と変更できる。この場合、当初の先発予定選手を交代要員とすることはできない。
また、負傷等で欠場となる選手の代わりに、大会申し込みを行った選手の中から交代要員を補充することができる。交代要員を変更する場合、新たな選手を交代要員とすることができる。
 - ウ. 交代を行うことのできる数は、最大14名の交代要員の中から5名以内とする(決勝戦に、において延長戦が行われる場合、6人目の交代を認める)。必ず交代用紙を使用すること。
 - エ. 選手交代回数の制限
 - ①試合を通じて3回とする。1回に複数人を交代することは可能。
 - ②ハーフタイムでの選手交代は交代回数に含まれない。

オ. 脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いについて

- ① 1 試合において、各チームは最大 1 人の「脳振盪による交代」を使うことができる(通常交代には含まれない)。
- ② 「脳振盪による交代」は通常交代と判別できるよう、赤色の交代用紙を用いて主審／第 4 の審判員に知らせる。
- ③ 脳振盪を起こした、またはその疑いがある競技者は、PK 戦を含むその試合の残りの時間に出場することができない。
- ④ チームが「通常の交代」の人数を全て使い切ってしまったならば、「通常の交代」のために「脳振盪による交代」の枠を使うことはできない。
- ⑤ 「脳振盪による交代」をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1 名 1 回の交代を追加で得ることができる。この追加の交代は、「追加の交代要員」のためにのみ使うことができ、「通常の交代要員」には使うことができない。
- ⑥ 「追加による交代」は通常交代と判別できるよう、黄色の交代用紙を用いて主審／第 4 の審判員に知らせる。
- ⑦ 交代で退いた競技者が、「脳振盪による交代」及び「追加による交代」で再び競技者になることはできない。
- ⑧ 1 試合における各チームの「脳振盪による交代」及び「追加による交代」の人数はそれぞれ 1 名とする。

(3) ベンチ入り出来る役員の数 は 6 名以内とし、メンバー表に役職・序列を記載する。

(4) テクニカルエリアは設置する。

(5) 競技者の用具

ア. ユニフォームは正副 2 色(シャツ・ショーツ・ソックス、FP・GK 用共)、背番号は 1～25 とし、各試合必ず携行する。正副の 2 色については明確に異なる色とし、同色の使用は避けること。チームのユニフォーム(GK のユニフォームを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。ソックスの上にテープまたはその他の材質のものを貼り付けるまたは外部に着用する場合、それは着用するまたは覆う部分のソックスの色と同じ、または透明のものでなければならない。アンダーシャツを着用する場合、シャツの各袖の主たる色と同じ色とする。アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者は、同色のものを着用しなければならない。

イ. チームキャプテンはアームバンドを着用しなければならない。

(6) メンバー表は、試合開始 70 分前までに本部と相手チームに提出する。

(7) 懲罰

ア. 本大会において退場を命じられた選手等は、次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については、大会規律委員会において決定する。規律委員は、県協会規律委員長、2 種規律委員(県委員長・5 支部長・技術委員長・審判委員長)とする。

イ. 本大会期間中、累積警告を 2 回受けた選手等は、次の 1 試合に出場できない。

(8) 試合球は原則、大会主催者が用意したものを使用する。

(9) 第 4 の審判員の任命は準々決勝以降とする。

(10) 本大会はキャプテンオンリーを適応し、「キャプテンオンリー」ガイドラインに則り実施する。

12 備 考

(1) 会場校に迷惑をかけないこと。清掃・ごみの持ち帰り励行する。

(2) 交通事情に考慮し、試合時間に遅れないこと。

(3) 競技中選手が負傷した場合、主催者が応急処置はするが、その後の責任は負わない。

(4) 準決勝・決勝戦は試合開始 70 分前にマッチコーディネーションミーティングを行う。監督が出席をすること。その際、選手証確認(スマホ・タブレット等で確認できるようにしておく)を実施する。

(5) 準々決勝進出チームには PC 公式記録用電子データのメンバー表ファイルをメールする。(PC 公式記録作成に御協力願います。)

(6) 落雷・荒天等、その他不測の事態により試合の開催が困難な場合は、主催者によって変更または中止を別途定める場合がある。試合が中止等となった場合の懲罰の消化については、JFA 懲罰規程〔別紙 2〕競技及び競技会に関する懲罰基準の運用に関する細則第 10 条に準ずる。

(7) 審判割り当てについては別紙「審判割り当てについて」参照のこと。